

# 内訳書転記支援ツール利用マニュアル

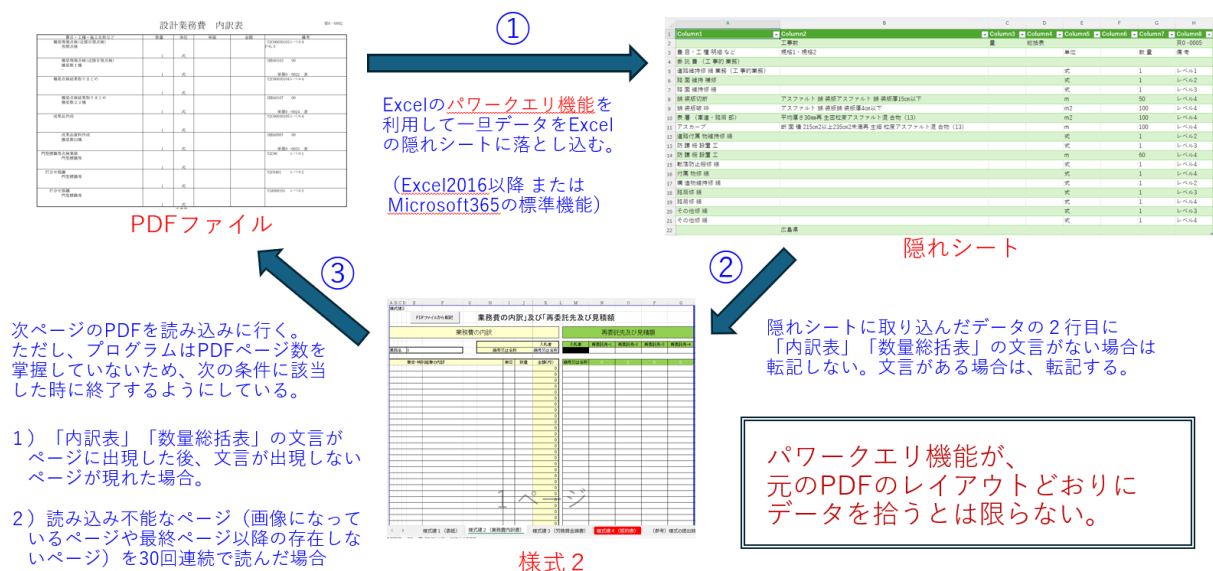
令和8年6月1日作成

**【注意】** 内訳書転記支援ツールは、PDF ファイルの内容を正確に転記するとは限りません。  
転記結果に誤りがないか十分ご確認いただき、必要に応じて修正してください。

## 【使用環境・動作概要】

内訳書転記支援ツール（マクロ）は、Excel のパワークエリ機能を利用しています。  
そのため、内訳書転記支援ツールを動作させるには、パワークエリ機能を利用可能な Excel のバージョン（Excel2016 以降、Microsoft365 を含む）である必要があります。

## 内訳書転記支援ツールの動作概要



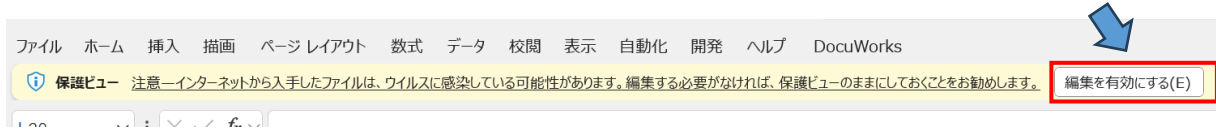
## 【前提条件】

マクロの使用を前提にしていますので、Excel 設定でマクロを無効にしている場合は、Excel → [ファイル] → [オプション] → [トラストセンター] → [トラストセンターの設定] → [マクロの設定] を押して、下記の画面を出し、「警告せずに VBA マクロを無効にする」**以外**のいずれかにチェックを付けてください。

信頼できる発行元	<b>マクロの設定</b> <input type="radio"/> 警告せずに VBA マクロを無効にする (M) <input checked="" type="radio"/> 警告して、VBA マクロを無効にする (A) <input type="radio"/> 電子署名されたマクロを除き、VBA マクロを無効にする (G) <input type="radio"/> VBA マクロを有効にする (推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)(N)
信頼できる場所	
信頼済みドキュメント	
信頼できるアドイン カタログ	
アドイン	

赤枠内の3つのうちのどれかにする。(下に行くほどセキュリティレベルが低くなる)

3つのうち上の2つにチェックした場合、ファイルを開いた時に下のようなボタン（「編集を有効にする」「コンテンツの有効化」）が出るので、ボタンを押してマクロを有効にする。

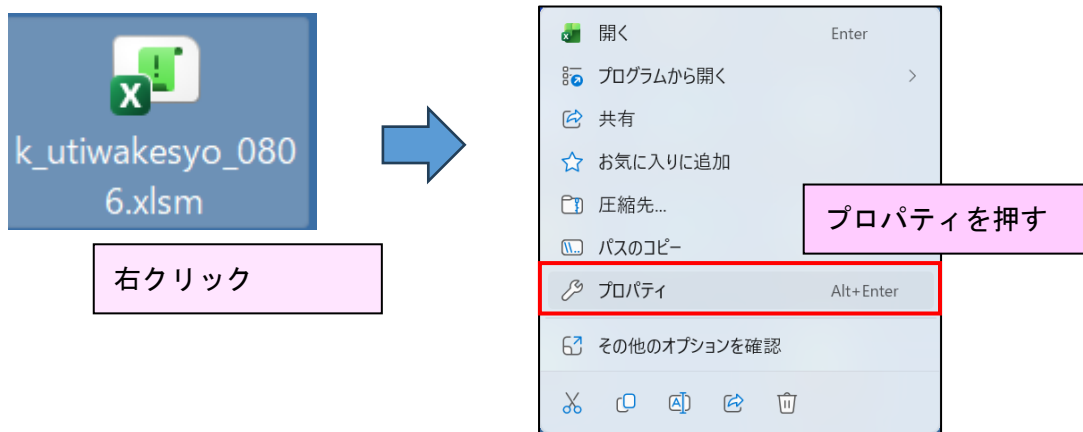


なお、有効にしても、次のようなメッセージが出てブロックされる場合があります。

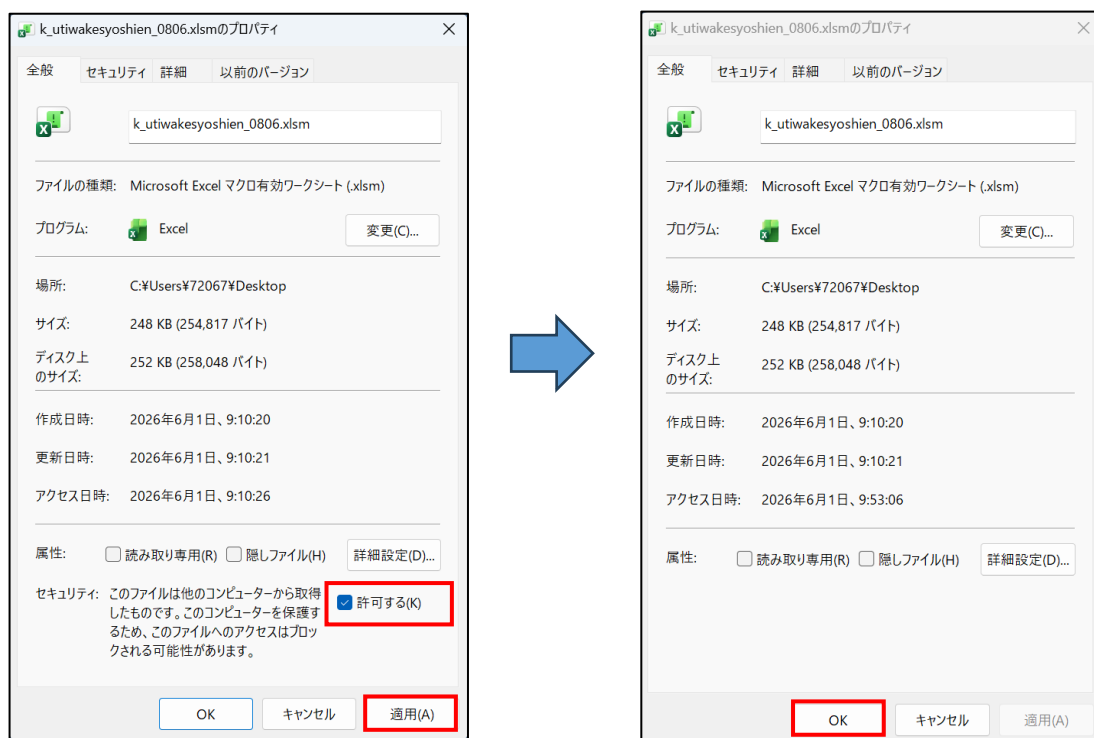


その場合は、一旦 Excel ファイルを閉じて、次の手順を実行してください。

①ファイルを右クリックして「プロパティ」を押します。



②右下の「許可する」にチェックを入れて、「適用」を押し、最後に「OK」を押します。



**【転記内容】**

- ・ PDF ファイルの「工事数量総括表」または「業務費内訳表」の「費目」「規格」「単位」「数量」を転記します。ただし、レベル4より下位の「費目」は転記しません。
- ・ H列には、「レベル1」～「レベル4」までの文字が追記されます。

工事数量総括表

頁0 -0001

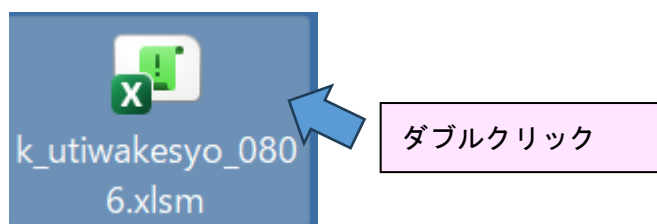
費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	備 考
本工事費					
畑かん施設工		式		1	レベル1
土工		式		1	レベル2
作業土工	管体工	式		1	レベル3
床掘		式		1	レベル4
土砂等運搬	仮置き	m3		570	レベル4
埋戻	埋戻しI	式		1	レベル4
埋戻	埋戻しII	式		1	レベル4
土砂等運搬	流用土	m3		260	レベル4
作業土工	既設管接続工	式		1	レベル3
床掘		式		1	レベル4



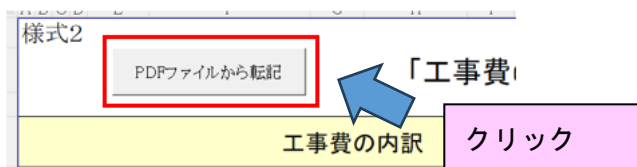
工事名	商号又は名称			
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	
本工事費				
畑かん施設工	レベル1	式	1	
土工	レベル2	式	1	
作業土工	管体工	式	1	
床掘	レベル4	式	1	
土砂等運搬	仮置き	m3	570	
埋戻	埋戻し	式	1	
埋戻	埋戻し	式	1	
土砂等運搬	流用土	m3	260	
作業土工	既設管	式	1	
床掘	レベル4	式	1	
土砂等運搬	仮置き	m3	13	
埋戻	埋戻し	式	1	
埋戻	埋戻し	式	1	
土砂等運搬	流用土	m3	8	
作業残土処理工	管体工	式	1	

## 【利用方法】

- ①マクロ付き Excel ファイル (k\_utiwakesyo\_0806.xlsm など) を開きます。



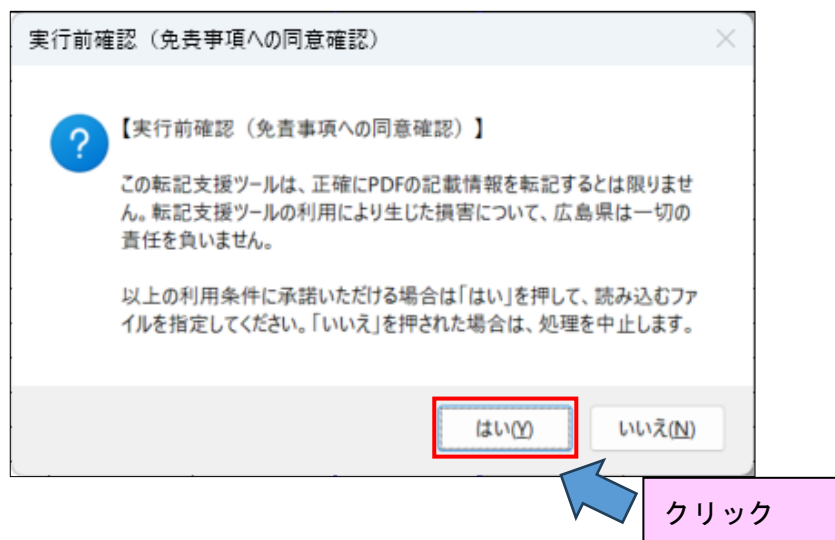
- ②「様式2」のシート左上にある「PDF ファイルから転記」ボタンを押します。  
※以前のデータがシートに残っていても構いません。転記実行前に自動消去します。



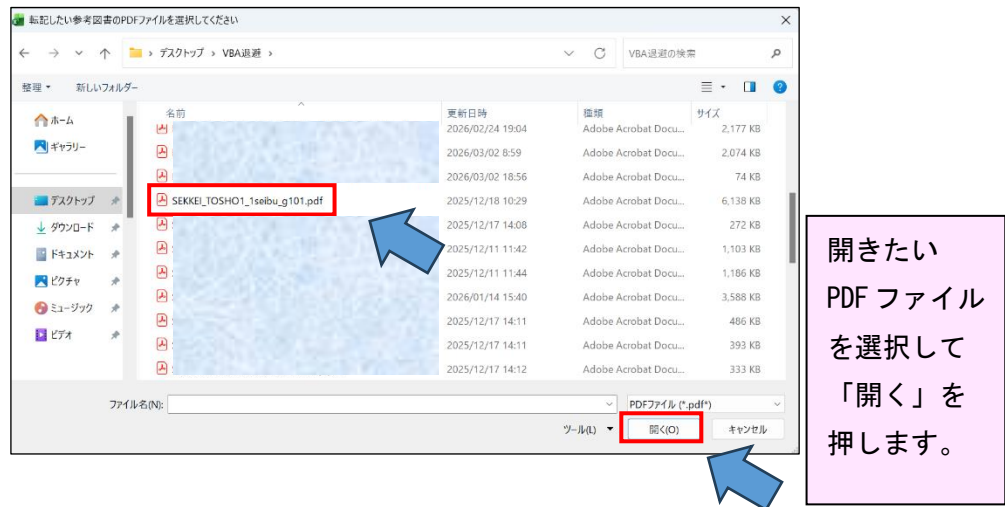
- ③内訳書転記支援ツールは、PDF ファイルの内容を正確に転記するとは限りません。  
(転記ミスが生じる具体的な事例について、6 ページに記載しています。)

よって、転記支援ツールの処理結果は、利用者で十分に確認いただき、必要に応じて利用者側で修正を行っていただく必要があります。転記支援ツールの転記ミスをそのままにした結果、利用者に失格等の損害が生じたとしても広島県は一切の責任を負いません。その利用条件に承諾いただける場合は、「はい」を押してください。

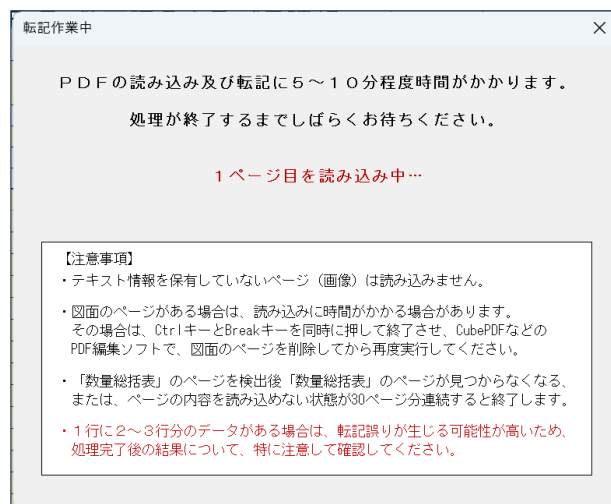
「いいえ」を押すと、処理を中止します。



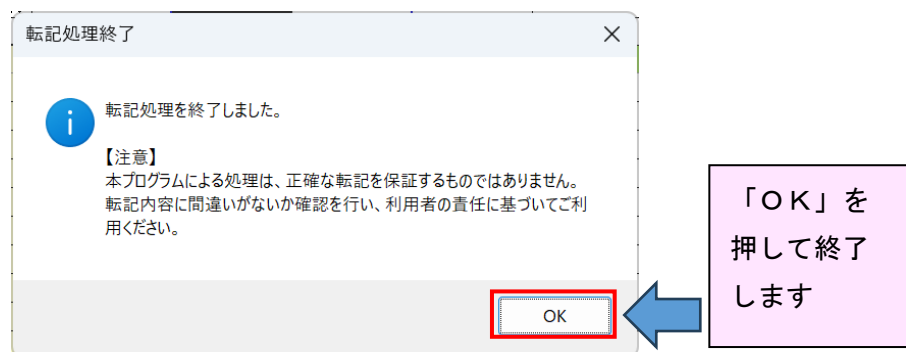
④ファイル読み込みダイアログが出現するので、読み込む PDF ファイルを指定します。



⑤画面中央に進捗状況を表すダイアログが出現しますので、完了するまで放置します。



⑥「転記処理を終了しました」のメッセージボックスが出れば終了です。



**【転記結果で注意すべき点（転記ミスが生じる具体的な事例）】**

・転記結果は、PDF ファイルの掲載内容と必ず一致するとは限りません。

特に次のような転記誤りが発生することがありますので、転記結果を十分にご確認の上、必要に応じて転記された後のセルを直接修正してご利用ください。

①元の PDF ファイルの「工事数量総括表」や「業務費内訳表」における数量が、枠線をはみ出して記載されている場合、枠をはみ出している部分が転記されないことがある。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	備 考
本工事費	土木工事				
排水機場設備基礎工事					レベル1
設備基礎工		式		1	レベル2
既設設備基礎取壊し工		式		1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	既設設備基礎（無筋コンクリート）	式		1	レベル4
殻運搬	無筋コンクリート殻	m3		6.8	レベル4
殻処分	無筋コンクリート殻	m3		6.8	レベル4
コンクリート	18-8-40BB	t		16	レベル4
設備基礎工	ピット撤去（減速機周辺）	m3		0.1	レベル4
設備基礎工		式		1	レベル3
鉄筋		m3		8.3	レベル4
鉄筋 (差筋)	SD295_D13	t		0.207	レベル4
ケミカルアンカー	D13用	t		0.039	レベル4
		本		80	レベル4

工事名	商号又は名称	元請負人		
		商号又は名称		
費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量	金額(円)
本工事費	土木工事			
排水機場設備基礎工事		レベル1 式		
設備基礎工		レベル2 式		
既設設備基礎取壊し工		レベル3 式		
設備基礎工		レベル3 式		
設備基礎工		レベル4 m3	8.3	
鉄筋	SD295_D13	レベル4 t	0.20	
鉄筋(差筋)	SD295_D13	レベル4 t	0.03	
ケミカルアンカー	D13用	レベル4 本	80	
コンクリート削孔		レベル4 孔	80	
コンクリート構造物取壊し	無筋コンクリートピット構	レベル4 m3	0.3	
殻運搬	無筋コンクリート殻	レベル4 m3	0.3	
殻処分	無筋コンクリート殻	レベル4 t	0.7	

**原本 0.207 → 転記後 0.20 ※枠をはみ出した7が転記されない**  
**原本 0.039 → 転記後 0.03 ※枠をはみ出した9が転記されない**

**【注意！】**  
 このような数字の誤りを放置したまま提出しますと、失格となりますので、特に注意をお願いいたします。  
 転記処理が終わった後で、手入力にて修正して上書き保存してください。

- ②「規格」に記載されている文字列の一部が、「費目」の文字列の後ろにくっついて転記されてしまう場合がある。(発生条件は特になく、Excel のワークエリ機能による仕様のため、PDF ファイルによって発生したりしなかったりする)

### 工事数量総括表

頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
小口止コンクリート	小型構造物 18-8-40BB	m3	1	レベル4
カルバート工	B号函渠工	式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
場所打函渠工(構造物単位)		式	1	レベル3
函渠	内幅1.8m, 内高2.01, Co規格24-12-25	m3	32	レベル4
鉄筋	SD345 D16~D25	t	0.87	レベル4
鉄筋	SD345 D13	t	1.39	レベル4



「規格」にあるべきものが「費目」に転記されてしまう。

工事名	商号又は名称	商号又は名称
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位 数量 金額(円)
中詰工	割栗石(5~15cm) レベル4	m3 13
胴込・裏込材(砕石)RC-40	レベル4	m3 20
吸出し防止材(全面)設置合成不織布	t=10mm9.8kN/m レベル4	m2 35
小口止コンクリート 小型構造物	18-8-40BB レベル4	m3 1
カルバート工 B号函渠工	レベル2	式 1
作業土工	レベル3	式 1
場所打函渠工(構造物単位)	レベル3	式 1
函渠 内幅1.8m, 内高2.01, Co規格24-12-25	レベル4	m3 32
鉄筋 SD345	D16~D25 レベル4	t 0.87
鉄筋 SD345D13	レベル4	t 1.39
中詰め土土砂	レベル4	式 1
Coブロック工(Coブロック積)	レベル3	式 1
1号コンクリートブロック基礎18-8-40BB	W=564mmH=300mm レベル4	m 2
2号コンクリートブロック基礎18-8-40BB	W=547mmH=350mm レベル4	m 2
大型ブロック積ブロック2,000kg/個以下	水抜きパイプ無し レベル4	m2 13

#### 【注意！】

上記のように同一行に必要事項が漏れなく記載されている場合は、適格として処理されますが、このような誤りが見つかった場合は、本来の書類と合致するよう手入力にて修正してください。

- ③同一項目内でデータが分割されてしまい、分割されたデータが、末尾等にくっついて転記されてしまう場合がある。(発生条件は特になく、ランダムに発生する)

元の PDF ファイルの業務費内訳表

**直接原価**					
その他原価					
計算情報..... 対象額..... 率.....					
**間接原価**					
**業務原価**					
一般管理費等					
計算情報..... 対象額..... 率.....					
業務価格計					



転記支援ツールの「様式 2」

36	**直接原価**
37	その他原価
38	計算情報.....
39	対象率.....額.....
40	**間接原価**
41	**業務原価**
42	一般管理費等
43	計算対象額.....率.....情報.....
44	業務価格計

対象 [ ]  
率..... [ ]

[ ] 情計算 [ ]  
対象額.....  
率..... [ ]

**【注意！】**  
 そもそも提出する必要のない内容であれば行ごと削除するなどの対応をしてください。  
 残す必要のある内容であれば手入力で修正してください。

- ・提出に際して不要な行は、必要に応じて行全体を削除しても構いません。

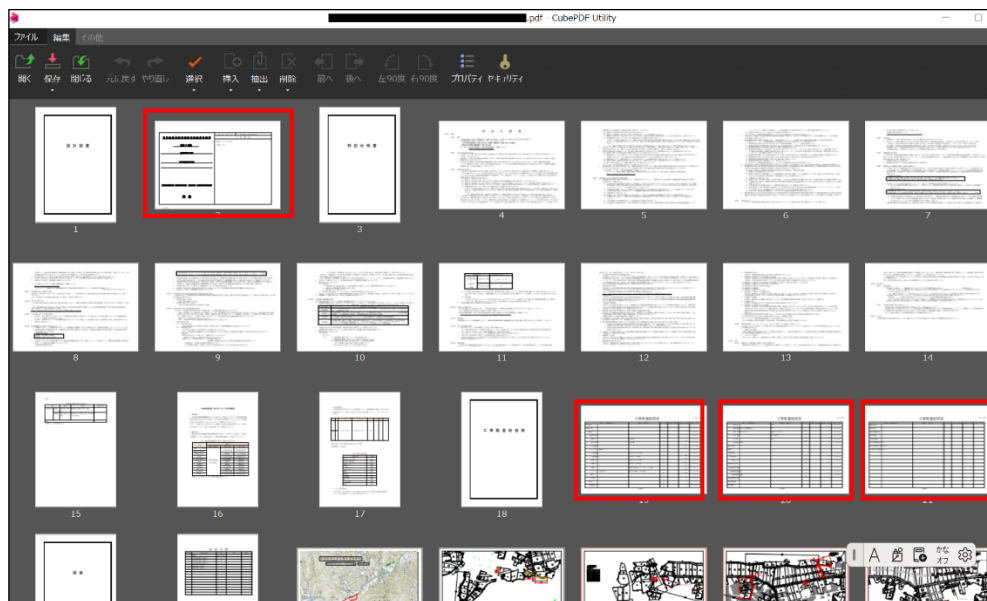


その上で、CubePDF Utility などの PDF 編集ソフトを使用して、PDF ファイルから図面のページを削除するなどしてから、編集後ファイルを読み込ませて実行してください。

【参考手順】フリーソフトの CubePDF Utility を例に手順を示します。

CubePDF Utility のダウンロードページ : <https://www.cube-soft.jp/cubepdfutility/>

- ①編集を行う前に、オリジナル（原本）の PDF ファイルはコピーして退避させてください。
- ②CubePDF Utility を起動し、編集しようとする対象の PDF ファイルを開きます。



- ③内訳書転記支援ツールの動作上必要なページは、**表紙**と**工事数量総括表** または **業務費内訳表**のページになります。

(②の図の赤枠で囲っているページが必要なページです)

それ以外は必要ないため、「Ctrl」キーを押しながら、**不要なページを全てクリック**して選択。その後、「Delete」キーを押すと下図のように必要なページだけ残ります。



- ④上図で「保存」ボタンを押して、CubePDF Utility を終了させれば完了です。  
この作業を行った方が、読み込み作業の効率が良くなり、完了までの時間も早くなりますので、できるだけこの作業を行ってから転記実行することを推奨します。

## 【内訳書転記支援ツールに関するお問い合わせ先】

広島県 土木建築局 建設DX担当

次のお問い合わせフォームからお問い合わせをお願いします。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/ques/questionnaire.php?openid=4239>

なお、機能改修等のご要望に関するお問い合わせにつきましては、ご意見として承りますが、個別のご回答は控えさせていただきますのでご了承ください。

The screenshot shows a Microsoft Edge browser window with the URL '内訳書転記支援ツールに関するお問い合わせ | 広島県 - 職場 - Microsoft Edge'. The page title is '内訳書転記支援ツールに関するお問い合わせ'. There is a '通常ページへ戻る' link. The main content includes a security warning, an introduction to the tool, a disclaimer about individual responses, and contact information for the Hiroshima Prefecture Construction DX team. The form consists of five questions (Q1-Q5) with input fields:

- Q1: 会社名（法人名）をご記入ください。（必須）
- Q2: 担当者名をご記入ください。（必須）
- Q3: 連絡先の電話番号をご記入ください。（ハイフン無し）（必須）
- Q4: 連絡先のメールアドレスをご記入ください。（必須）
- Q5: お問い合わせ内容（必須）